

## プログラムA・B共通

### 必修研修

#### (1) 画像診断（歯科放射線科）研修

一般目標：歯科臨床医として遭遇する頻度の高いエックス線CT及びMRI画像に触れる。

行動目標：①パノラマ及びデンタルエックス線写真を撮影し、その正常像を理解する。  
②歯科用インプラントの術前検査としてのエックス線CT所見を診る。  
③顎関節症患者の検査として顎関節部のMRI所見を診る。

方 略：①口内法エックス線写真（二等分法、咬合法X線写真、咬翼法X線写真）及びパノラマX線写真を撮影する。  
②口内法及びパノラマエックス線写真の正常構造物を乾燥頭蓋骨と照らし合わせて暗記する。  
③顎関節症患者のTeaching films（TMJパノラマX線写真とMRI画像から構成されたもの）を読影し検査報告書を作成する。  
④歯科用インプラントの術前検査としてのTeaching films（エックス線CTとパノラマX線写真から構成されたもの）を読影し検査報告書を作成する。  
⑤総合画像診断を行う必要のあるTeaching films（X線CT、MRI及びUSとパノラマエックス線写真から構成されたもの）を読影し検査し報告書を作成する。

研修期間：2日間

### 希望研修：両方・片方・選択しない の選択が可能

#### (1) 病棟研修

一般目標：口腔外科疾患のあらゆる疾患に対して、口腔外科の基本的知識、技能、態度を習得する。

行動目標：①清潔、不潔に配慮した行動を実践する。  
②医療面接により必要な情報収集を行うことができる。  
③各種検査・診査により全身状態の把握をすることができる。  
④簡単な口腔外科手術手技、入院下での患者の全身管理を実践する。

方 略：下記項目について、講習及び必要に応じて相互実習を行った後、患者研修を行う。  
①全身、顎顔面、口腔内の診査。  
②バイタルサイン、臨床検査、モニターの使用法。  
③診療録の記載。  
⑤ライン確保、採血、輸液。  
⑥薬物療法。

期間：1か月間

#### (2) 全身管理（歯科麻酔科）研修

一般目標：歯科治療時に発症する緊急事態に対処できる知識・技術・態度を習得するとともに全身麻酔および精神鎮静法を計画・施行し習得する。

行動目標：①生活習慣病患者の歯科治療時の留意点を説明できる。  
②バイタルサインの測定とその意味を説明できる。  
③気道確保と人工呼吸ができる。  
④留置針による静脈路確保ができる。  
⑤救急薬を適切に使用できる。

方 略：①手術室、外来診療室で行われる全身麻酔、精神鎮静法の麻酔計画をする。  
②麻酔計画に従って全身麻酔、精神鎮静法を施行する。  
③術後の患者の状態を把握する。

研修期間：1か月間